

## 地熱発電を 復興のシンボルに

・わいた地熱発電所（小国町）

6月21日

・菅原バイナリー発電所（九重町）

6月22日

・八丁原発電所（九重町）

6月22日

阿蘇山西部地域地熱資源活用協議会のメンバー18名（総務委員5名含む）が6月21日に小国町、翌22日に大分県九重町の地熱発電所を視察研修した。

小国町、九重町における地熱発電は国内でも有数の地熱発電地帯である。既存の発電所はもとより新規計画も立てられているほどの場所であり、今回はすでに稼働中の発電所を視察した。

発電所内の視察、そして地域との取り組みについても話を聞くことができた。協議会のメンバーからは、温泉を活用した振興策等がないかなど、多彩な意見が出された。

現在、村では二つの事業グループが地熱調査を行っている。今後、村として地域に地熱発電所ができることにより、村の地域活性化を図っていききたい。



大分県玖珠郡九重町菅原 菅原バイナリー発電所  
出力5,000kW、発電量4千万 kWh/年（一般家庭約11,000戸分の年間使用電力量に相当）

## 村民に親しまれる 広報誌をめざして

議会広報クリニック研修報告

平成29年7月6日～7日

委員6名・事務局2名

6日、全国町村議会会館（東京都）で行われた、町村議会広報クリニックに参加。村民の皆様が届いている広報誌の写真・記事内容・企画・取材等全般にわたり広報誌の専門家からクリニックを受けた。



読み手を惹きつけるような紙面構成、文字の大きさや配置など、全体的に高評価はされたが、改善点の指摘もあり、今後さらに紙面づくりによる成果を発揮できるよう、気持ちを新たにしたい。

7日は、朝日新聞東京本社を訪ね、新聞づくりの現場を見学。情報を文字で伝える大切さを改めて学んだ。



1分間に1500部印刷できる巨大輪転機